



## つなみ お 津波はなぜ起こるの

### かいてい じしん お つた なみ 海底の地震で起こり、伝わってくる波

かいてい おお じしん お かいてい ちけい きゅう へんか かいすい おお あ  
海底で大きな地震が起こると、海底の地形が急に変化して、海水が大きくおし上げられ  
たり、落ちこんだりして、大きな波が起こります。この波が、海岸まで伝わってくるものを、  
つなみ  
津波といいます。

なみ たか すいしん あさ たか なみ あさ かいがん ない  
波の高さは、水深が浅くなるにつれて、高くなります。ですから、波が浅い海岸やわん内  
はい きゅう たか すうじゅう たか  
に入ってくると、急に高くなり、ときには、数十メートルの高さになる、ということもあ  
ります。

### しんげん あさ お 震源が浅いほうが起こりやすい

つなみ たか じしん おお しんげん じしん お ところ かいがん ちけい  
津波の高さは、地震の大きさや、震源(地震の起こった所)までのきより、海岸の地形な  
か  
どによって変わります。

つなみ じしん おお あらわ い か じしん  
津波は、マグニチュード(地震のエネルギーの大きさを表す)6.3以下の地震では、  
ほとんど起こりません。また、しんげん あさ お つなみ  
震源が浅いほうが、起こりやすいのです。津波の90パーセ  
ふか い か ところ お じしん お  
ントは、深さが40キロメートル以下の所で起こった地震によって、起こっています。

ねん ほっかいどうなんせいおきじしん たか  
1993年の北海道南西沖地震は、マグニチュードが7.8もあり、高さが20メートル  
なみ ひと な つなみ とお  
をこえる波が、おしよせてきて、たくさんの方が亡くなりました。また、津波は、はるか遠  
つた ねん なんべい おき お じしん  
くのほうからも、伝わってきます。1960年、南米のチリ沖で起きた地震のときには、  
たいへいよう つた つなみ  
太平洋を伝って、日本に津波が、おしよせてきました。(監修・国司 真)

